

牧高生の政策提言、今年も

2月9日、2年生が市長へプレゼン

市は2月9日(水)、枚方市長が牧野高校2年生から政策提言を受ける場を設ける。市民からの意見や要望を市政運営の参考とする「市長への提言」事業の一環で、同校生徒からの提言は今回で3回目を迎える。テーマは市が「公民連携プラットフォーム」事業の一環で提案を募集している課題から8つを選出。同校2年生が64班に分かれ、校内で選抜された8班がプレゼン形式で市長に提案する。

★同校2年(全8クラス)が各クラス4~5人の班ごとに、枚方市公民連携プラットフォームで募集しているテーマの中から「農業地振興地域のさらなる発展について」「王仁公園のサービス向上に関する提案」「シェアリングエコノミー制度について」「枚方宿の町並み保存及び賑わいの創出」「枚方市のスマートシティ化に向けた取り組みについて」「SDGsの達成に向けた取り組みに関する提案の募集」「信号のない横断歩道における交通ルール周知徹底について」「里山の保全について」の8つを取材。12月23日には牧野高校で、市の担当課職員に対し中間発表を実施。質疑応答や意見交換を通して、内容をさらにブラッシュアップした。

★中間発表では、発表を聞いた担当課職員が「内容の素晴らしさに驚いた。高校生ならではの意見が聞けてよかった」「実現できそうな意見もあるので検討したい」と感心した様子で話していた。



▲「SDGsの達成に向けた取り組みに関する提案」について発表する生徒。職員に「校内でアンケートをとってニーズを把握してみても」と意見を受けた松崎聖里奈さん(写真中央)は「SNSを使ってアンケートをとってみようかな」と話した。



▲中間発表を終え、提案内容について市の担当課職員と意見交換。

- ★同校からの最初の提言は令和元年 11 月。自らが社会の構成員で、社会を変革できる可能性があるという認識する生徒を育みたいという考えから、市長に意見を述べる機会を作れないかとの相談を広聴相談課が受けたことをきっかけに、当時の 3 年生 3 人がまちづくりの課題について市長との意見交換会を行った。昨年度はオンラインで 2 年生が班ごとに市長に提案。その中で、「市内を流れる天野川を星空の天の川のような綺麗な川に」という提案「HIRAKATA プロジェクト」は後日、天野川周辺で毎年開催されている七夕イベント「ゆめのほしフェスタ」との連携にも発展した。
- ★「市長への提言」はメールやハガキなどで随時募っており、昨年度は 451 件寄せられた。これまでに「乾電池など回収ボックスの改善」「自転車通行帯（青い矢羽根）の整備」などの提言が実現。提言の趣旨と市の考え方は市ホームページで公表している。
- ★発表会は 2 月 9 日（水）の午後 2 時 10 分～4 時（予定）に牧野高校（南船橋 1 丁目）の体育館で行われ、2 年生 317 人 64 班のうち選抜された 8 班がそれぞれのテーマごとに発表する。

<お問い合わせ>

市長公室 広聴相談課 ☎ : 072-841-1559 FAX : 072-846-8861